京丹後市文化財保存活用地域計画進捗管理表

包括的な措置　実施調書

資料１０−１

基本方針１－１．「計画的に調査・研究を進め、成果を共有する」に基づく措置

基本方針１－１．進捗管理

課題	番号		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	実施年度					令和5年度			
					主管課	大学	団体	市民	前期（３年）	後期（2年）	次期計画				R5	R6	R7	R8	R9	実施内容等	実施成果	評価	今後の方向性
未把握の文化財に関する調査の推進	1	継続	文化財に関する計画的な把握調査の実施	山林寺院や祭りや行事、堂・祠等調査が充分進んでいない類型の文化財に対する調査を、大学等研究機関や市民、活動団体と協働して進める。（個別の文化財に関する調査事業については関連文化財群の措置として記載）	**文化財保存活用課**	●	●	●	○	○	○	外部資金(大学研究費)、国庫補助金、市費			○	○	○	○	○	山林寺院等の調査を、大学研究費（大学教員の科学研究費等）により、京都府立大学や地元団体（丹後ひくやま会）とともに実施中。	京都府立大学ACTRや大学教員の科学研究費等により実施してきた味土野の山林寺院跡の踏査や洞養寺の仏像調査の成果について、府大主催で11/26（日）洞養寺にて調査成果報告会を開催し、調査成果を地元へ還元。	普通	維持
調査成果が活用しやすい環境づくり	2	新規	調査成果の保存・管理等の推進	これまでの調査結果の保存・管理を進めるため、調査成果の整理、デジタル化などを進める。具体的には、絵画・彫刻・工芸品・古文書等に関して、３Ｄスキャンや写真撮影によるデジタル化を推進する。	**文化財保存活用課**	●					○	国庫補助金、市費											

基本方針１－２．「保護の対象を広げ、適切な管理のための環境を整える」に基づく措置

基本方針１－２．進捗管理

課題	番号		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	実施年度					令和5年度			
					主管課	大学	団体	市民	前期（３年）	後期（2年）	次期計画				R5	R6	R7	R8	R9	実施内容等	実施成果	評価	今後の方向性
文化財保護法や条例に基づく着実な文化財の保護	3	継続	文化財指定等の推進	未指定文化財のうち重要なものについて、文化財保護法や条例に基づく新規文化財指定に向けた取り組みを推進する。	**文化財保存活用課**			●	○	○	○	市費	京丹後市文化財保護条例		○	○	○	○	○	新規文化財指定に向けた候補の検討を、文化財保護審議会に諮りながら進める。令和5年度の文化財保護審議会は、6月、10～11月頃、3月頃の計3回開催予定。	新規文化財指定に向けた候補の検討を、文化財保護審議会に諮りながら進めた。審議会は、令和5年6月に開催。令和6年3月に2回目を開催予定。	普通	維持
	4	新規	「（仮称）京丹後市登録文化財制度」の創設の検討	市民の身近な文化財を市登録文化財として認定することにより、保存・活用を進めるための新しい制度の創設を検討する。	**文化財保存活用課**				○	○	○	市費	京丹後市文化財保護条例		○	○	○	○	○	市登録文化財制度の創設に向けた検討を、文化財保護審議会で議論しながら進める。	未実施	低い	維持
	5	継続	京都府文化財保護指導委員による巡視	文化財の保存・管理、普及啓発のため京都府文化財保護指導委員による巡視の支援を行う。	**文化財保存活用課**				○	○	○	府費	京都府文化財保護条例		○	○	○	○	○	京都府文化財保護指導委員による巡視について、府との連絡調整や助言等の支援を行う。	京都府文化財保護指導委員による巡視について、府との連絡調整や助言等の支援を行った。	普通	維持
文化財の保存に係る財源の確保	6	新規	「（仮称）京丹後市文化財保護基金」の設立の検討	安定的に文化財の保存に関する財源を確保するため、ふるさと応援基金等を活用し、基金の設立を検討する。	**文化財保存活用課**				○	○	○	市費、寄付金等			○					今後の文化財の保存活用に関する財源を確保するため、今年度設置の文化財保存活用地域計画推進協議会において、基金の設置について検討し、設立を目指す。	令和5年6月の推進協議会で京丹後市文化財保存活用基金の設立を検討し、9月に基金設立。運用を開始した。	高い	拡充
					ふるさと応援推進課				○	○	○	市費、寄付金等			○					ふるさと応援寄附金を活用した「（仮称）京丹後市文化財保護基金」の設立の検討。	令和5年9月に「京丹後市文化財保存活用基金条例」を制定。あわせて「ふるさと応援寄附金条例」を改正し、寄附金の使途に当該基金を追加した。		
指定等文化財の適切な修理・保全	7	継続	京丹後市指定文化財等補助金	貴重な文化財を後世に残すために、所有者が行う指定文化財等の修理や保全に係る事業に対して補助金を交付する。	**文化財保存活用課**			●	○	○	○	市費	京丹後市指定文化財等補助金交付要綱		○	○	○	○	○	京丹後市指定文化財等補助金を運用する。	京丹後市指定文化財等補助金を運用。	普通	拡充
適切な保存・管理のための資料内容の整理、 市内資料館の機能の充実	8	継続	収蔵品目録の整備と収蔵施設の集約	資料館等の収蔵品目録の整備を行うとともに、分散収蔵となっている資料館に収蔵しきれない資料（民俗資料、考古資料、古文書）の集約をはかる。また、各区での保管が難しくなった資料を将来的に収集・収蔵することを想定し、収蔵施設の確保・拡張を検討する。	**文化財保存活用課**			●	○	○	○	国庫補助金、市費			○	○	○	○	○	資料館の収蔵資料について、台帳（目録）作成を進める。	丹後古代の里資料館収蔵庫の簡易台帳の作成を進めた。	普通	維持

基本方針１－３．「魅力を発信し、多様な分野と連携して活用する」に基づく措置

基本方針１－３．進捗管理

課題	番号		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	実施年度					令和5年度			
					主管課	大学	団体	市民	前期（３年）	後期（2年）	次期計画				R5	R6	R7	R8	R9	実施内容等	実施成果	評価	今後の方向性
多様な媒体を活用した情報発信	9	継続	広報、ケーブルテレビでの文化財の紹介	市広報、京丹後市ケーブルテレビを活用し、京丹後市文化財保存活用地域計画に示した京丹後市の歴史文化の特徴を紹介する。	**文化財保存活用課**				○	○	○	市費			○	○	○	○	○	各種文化財セミナーやイベントなどでケーブルテレビ、広報紙を活用する。	広報京丹後に市内の遺跡等を紹介する記事を5回掲載。また、文化財セミナー及び丹後古代の里資料館企画展示の展示解説をケーブルテレビ取材・放送。	普通	維持
					秘書広報広聴課				○	○	○	市費			○	○	○	○	○	文化財保存活用課と協議の上広報京丹後に関連記事を掲載する	広報京丹後に市内の遺跡等を紹介する記事を5回掲載した。	普通	維持
					デジタル戦略課				○	○	○	市費			○	○	○	○	○	コミュニティチャンネルでの番組放送を実施	丹後赤米、丹後ちりめんを題材にした企画番組を制作した。	普通	維持
	10	継続	特別展示や企画展示の開催	市内の資料館で市の歴史文化を紹介する特別展示や企画展示を開催し、市民や市外の人々への普及啓発を図る。	**文化財保存活用課**				○	○	○	市費			○	○	○	○	○	市立丹後古代の里資料館及び郷土資料館において、企画展示や各種イベントを開催し、普及啓発を進める。	郷土資料館では、企画展示2回、体験講座1回、丹後古代の里資料館では、企画展示3回、体験講座1回を開催。	普通	維持
	11	新規	「京丹後市歴史文化物語」の発信	京丹後市文化財保存活用地域計画に示した京丹後市の歴史文化の特徴を紹介するパンフレット（一般向け）を作成し、あわせて市HP等で紹介する。	**文化財保存活用課**			●	○	○	○	国庫補助金、市費			○	○	○	○	○	「京丹後市歴史文化物語」発信事業として、本計画に示す11のストーリーの紹介などを可能とするデジタルマップの作成を行い、運用する。	「京丹後歴史文化めぐりマップ」を制作。普及促進用にポスター・チラシ・カードの印刷を行った。	高い	維持
	12	継続	文化財に関する情報や調査成果の発信	市民や市外からの来訪者に対して、文化財に関する情報や調査成果の発信を行うため、京丹後市ホームページのデジタルミュージアム、文化財ライブラリーなどインターネット環境のほか、図書館・図書室で書籍や資料など紙媒体の活用を進める。	**文化財保存活用課**				○	○	○	国庫補助金、市費			○	○	○	○	○	図書館（室）と連携し、本計画に掲げる「11のストーリー」をテーマにした特別コーナーの設置を検討する。	未実施	低い	維持
					生涯学習課				○	○	○	国庫補助金、市費			○					図書館（室）で、文化財保存活用地域計画に掲げる「11のストーリー」をテーマにした特別展示を検討する。	丹後図書室において、ジオパークに関連した、テーマ「丹後くだもののヒミツ」「京丹後の酒文化」「地震からの復活を見る」を設け説明等展示、併せて関連図書の展示を実施	普通	維持
	13	新規	文化財活用実践セミナーの開催	市民が文化財の活用に取り組みたいと思うきっかけとなるような実践的なセミナーを定期的に開催する。	**文化財保存活用課**		●				○	国庫補助金、市費			○	○	○	○	○	大学との共同研究（府大ACTR等）や資料館の企画展示に関連し、京丹後市文化財セミナーを開催する。	文化財セミナー 第1回（浜詰企画展示）：90人参加 第2回（ACTR報告会）：65人参加	普通	維持

文化財の観光活用に向けた整備の推進	14	新規	文化財に関連するエコツーリズムの推進	多様な主体が連携して、「フードツーリズム」、「ジオツーリズム」、「産業ツーリズム」、「伝統・伝承ツーリズム」、「ヘルスツーリズム」、「史跡ツーリズム」を推進する。	**健康推進課**	●	●	●	○	○	○	国庫補助金、府補助金、市費								なし			
					観光振興課	●	●	●	○	○	○	国庫補助金、府補助金、市費			○	○	○	○	○	①ジオトレッキングを取り入れたツーリズムを造成し、観光公社で販売する。 ②e-バイク等をコンテンツとするヘルスツーリズムを造成し、観光公社で販売する。	①神姫観光13回、519人 全但バス6回、104人 ②1泊2日のプランの商品を造成。今後、販売について検討する。	普通	維持
					生涯学習課	●	●	●	○	○	○	国庫補助金、府補助金、市費			○					ジオパーク等自然の中で各種スポーツ大会を実施（山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク丹後100kmウルトラマラソン、丹後大学駅伝、SUPジャパンオープン、カヌーマラソン選手権大会、ドラゴンカヌー選手権大会、全国高等学校カヌー長距離選手権大会など）し、市外からの参加者を得ている（宿泊・観光への波及）	丹後100㎞ウルトラマラソン（2,439人参加）、丹後大学駅伝（460人参加）、SUP大会（88人参加）、カヌーマラソン大会（256人参加）、ドラゴンカヌー大会（768人参加）を開催した。	普通	維持
					商工振興課	●	●	●	○	○	○	国庫補助金			○					市内ものづくり産業の活性化と活力のあるまちづくりを推進するため、オープンファクトリーの実施を目的とした自社工場等の環境整備を行う事業者に対し、補助金を交付	4事業者に対して補助金を交付 環境整備に対する補助制度はR5を以て終了とするが、R6以降はオープンファクトリーツアー実施に向けてプレツアーを予定	普通	拡充
					長寿福祉課	●	●	●	○	○	○	国庫補助金、府補助金、市費											
					農業振興課	●	●	●	○	○	○	国庫補助金、府補助金、市費			○					市外料理人を対象とした、産地視察ツアー造成に向けたモニタリングツアーを実施。当該ツアーをベースとした飲食店向けPRパンフレットを制作し、市産食材の販路拡大活動で活用頂く。（京丹後食のふるさとづくり事業）	11月にツアーを実施し、都心の料理人４名と地元の料理人１名で、市内をPRした料理人向け冊子を編集、冊子として完成した。 今後、この冊子は都心料理店に訪問の際、参考資料として持参。また観光公社等とも共有をする。	普通	完了
					海業水産課	●	●	●	○	○	○	市費	海業推進事業計画、京丹後市漁業振興対策事業補助金交付要綱	海業振興事業補助金、地域水産物販路拡大支援事業補助金	○	○				▶地域漁業及び美しい海を活用した海業の推進・地域水産物の販路拡大 　琴引浜での環境学習を含めたシーカヤックの体制整備、市内海岸におけるスキューバダイビング実施調査、観光定置網から繋がる久美浜マリンプラザ（仮称）漁師めしのオープニング式典等の開催、浅茂川漁港を拠点とした観光遊漁船の体制整備、うにの陸上養殖試験、健康長寿に繋がる海藻の加工品づくりについて補助金を交付し支援する。	海業の推進と地域水産物の販路拡大に係る取組を支援した。 （取組内容） 琴引浜でのシーカヤック体験の体制整備、市内海岸でのスキューバダイビングの実施調査、漁師めしの開店に向けた設備の整備、浅茂川漁港遊漁船等の体制整備に向けたトイレの利用状況調査、うにの畜養試験、海藻の販促資材の制作	普通	維持
					文化財保存活用課	●	●	●	○	○	○	国庫補助金、府補助金、市費			○	○	○	○	○	史跡ツーリズムの具体的な内容について、関係課と連絡調整を図りながら、検討を進める。	京丹後歴史文化めぐりマップを作成し、史跡ツーリズムを可能とする周遊コースを公開可能なシステムを作ったが、史跡ツーリズム等の具体的な内容については、今後関係課と検討が必要。	低い	維持
	15	新規	文化財のユニバーサルデザイン化の推進	より多くの人が文化財を身近に感じることができるよう、来訪者が文化財を身近に感じられるような看板の整備、デザインの検討のほか、史跡や資料館などのバリアフリー化など、ユニバーサルデザイン化を推進する。	**観光振興課**		●	●	○	○	○	国庫補助金、市費			○	○	○	○	○	市域の文化財等を探訪する観光客が利用する道の駅、海浜トイレ等のユニバーサルデザイン化を図る。	道の駅(丹後)公衆トイレのユニバーサル改修。海水浴場公衆トイレの一部洋式化改修。	普通	維持
					文化財保存活用課		●	●	○	○	○	国庫補助金、市費			○	○	○	○	○	「京丹後市歴史文化物語」発信事業を通じて、文化財を身近に感じられるような看板の整備やデザインの検討を進める。	来訪者が文化財をより身近に感じられるよう、「京丹後歴史文化めぐりマップ」にアクセスできるQRコードを市内看板に貼り付け。	普通	維持
本市の多様な自然や歴史文化を活かした「教育旅行」の誘致推進	16	新規	文化財をテーマとした教育旅行の推進	本市の自然、歴史、文化、伝統、産業、環境を教育目的に据えた「教育旅行」の誘致を推進する。	**観光振興課**		●	●	○	○	○	市費			○	○	○	○	○	①ジオパーク等を題材にした教育旅行実現に向け、観光公社で教師向けモニターツアーを実施する。 ②文化財、産業、自然、食等を活用した大人の教育旅行コンテンツ造成に向け、里山文化案内人を養成していく。	①大阪府池田市立池田小学校の臨海学校の受け入れ（児童127名、本校職員33名、市教育委員会1名、看護師1名） ②１泊２日のツアーを３プランの商品造成を２事業者に委託して実施	普通	維持
					商工振興課		●	●	○	○	○	市費								なし			
					生活環境課		●	●	○	○	○	市費								特記事項なし			
					文化財保存活用課		●	●	○	○	○	市費						○	○				

基本方針１－４．「普及啓発の推進により、歴史文化の担い手を育てる」に基づく措置

基本方針１－４．進捗管理

課題	番号		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	実施年度					令和5年度			
					主管課	大学	団体	市民	前期（３年）	後期（2年）	次期計画				R5	R6	R7	R8	R9	実施内容等	実施成果	評価	今後の方向性
若年層を中心とした市民の興味関心の向上	17	継続	「丹後学」と連携した歴史文化学習	保幼小中一貫教育で実施される「丹後学」のモデルカリキュラムに、京丹後市文化財保存活用地域計画に示した京丹後市の歴史文化の特徴を学ぶ機会を位置づけ、児童生徒の郷土愛の育成につなげる。	**市内小・中（学校教育課）**				○	○	○	市費			○	○	○	○	○	令和７年度からの市内小中学校での活用に向け、今年度は、モデルカリキュラム作成部会を立ち上げ、新しい「丹後学」のあり方について検討・研究活動に取り組む。	令和４年度に改訂したモデルカリキュラムを活用した研究・実践が各学校園所に広がってきている。また、令和７年度の改訂に向けた令和５・６年度のモデルカリキュラム作成部会も計画的に進めることができている。（令和５年度は３回実施）	普通	維持
					市内保・幼（子ども未来課）				○	○	○	市費	学校教育指導の重点		○	○				保幼小中一貫教育の大きな特色であり、また、地域からの期待も高い「丹後学」が、児童生徒の主体的な活動を通して、知識・技能面の高まりや内面的な広がり・深まりが生み出されるものとなるよう、各学園・学校で創意工夫ある実践・研究を積み上げる。	保幼小中一貫教育の大きな特色である「丹後学」について、職員への知識・技術面の高まりや、広がり・深まりが生み出されるものとなるよう、各学園で創意工夫ある実践・研究を積み上げた。	普通	維持
					文化財保存活用課				○	○	○	市費			○	○	○	○	○	社会科副読本を総合的な学習の時間（丹後学）においても使いやすいよう、「（仮）地域学習副読本」として抜本的な内容改訂を行い、京丹後市の歴史文化の特徴を学ぶ機会を創出する。保幼小中一貫教育の中で扱えるものとして、小学校5年生から扱えるものに、副読本の対象学年を広げる。	従来の社会科副読本を丹後学等でも使えるテーマ別・探究的な記述に抜本的に改訂し、対象も小学校5年生から対応するものに拡大。『京丹後市地域学習副読本』を作成した。これは電子版も作成し、タブレット使用にも対応可能なものとした。	高い	維持

	18	継続	社会科副読本による歴史文化学習	本市の歴史文化を分かりやすく解説する社会科副読本（小学生向け・中学生向け）を作成するとともに、副読本の中で京丹後市文化財保存活用地域計画に示した歴史文化の特徴を紹介する。	**学校教育課**				○	○	○	市費			○	○	○	○	○	令和４年度の市内の小学校３年生に配付する（３・４年生時に活用）社会科副読本を改訂する。改訂内容としては、データ・資料の最新化及び社会科での学習内容と関連する本市の状況をより探究的に学べる構成への変更を予定している。	令和４年度中の改訂作業により、各学年の社会科の学習内容と関連付けた内容構成及び資料・データの最新化が図られた副読本を市内小学３年生に配布することができた。「探究的に学べる構成」については、検討を継続し、次年度に引き継ぐ。	普通	維持
					文化財保存活用課				○	○	○	市費			○	○	○	○	○	社会科副読本を「（仮）地域学習副読本」として、テーマ別に京丹後市の歴史文化の特徴を学べるものに抜本的な改訂を行う。	従来の社会科副読本を丹後学等でも使えるテーマ別・探究的な記述に抜本的に改訂し、対象も小学校5年生から対応するものに拡大。『京丹後市地域学習副読本』を作成した。これは電子版も作成し、タブレット使用にも対応可能なものとした。	高い	完了
	19	継続	文化財セミナー等の開催	文化財セミナーや文化財の見学等、市民を対象とした歴史・文化の学習機会を充実させる。	**文化財保存活用課**				○	○	○	市費			○	○	○	○	○	大学との共同研究（府大ACTR等）や資料館の企画展示に関連し、京丹後市文化財セミナーを開催する。	文化財セミナー 第1回（浜詰企画展示）：90人参加 第2回（ACTR報告会）：65人参加	普通	維持
地域の歴史文化を語れる人材、読み解ける人材の育成	20	継続	「（仮称）地域史料講座」「（仮称）ガイド養成講座」の実施と人材育成	「京丹後史博士」育成講座を改編し、石造物や民俗行事などの地域史料を読み解ける人材の育成を進める。またガイド団体と連携し、ガイドなどの人材育成をはかる講座を実施する。	**文化財保存活用課**		●	●	○	○	○	市費			○	○	○	○	○	京丹後史博士講座を開催する。	京丹後史博士講座を3/2に4時間開催（13人参加）。	普通	維持
	21	継続	歴史文化の魅力を普及・発信する人材育成	「山陰海岸ジオパーク」のほか、本市の自然、歴史、文化、伝統、産業、環境を発信できる人材の育成を推進する。	**生活環境課**		●	●			○	国庫補助金、市費	京丹後市観光振興計画（予定）							特記事項なし			
					農業振興課		●	●			○	国庫補助金、市費	京丹後市観光振興計画（予定）		○	○	○	○	○	就農初期の農業者に資金や機械導入等を支援し、新規就農者の確保・育成を図る。（農業次世代人材投資資金交付金・農業経営開始資金交付金・新規就農研修資金償還金助成事業など）	R5新規就農者採択　３名 ・農業経営開始資金交付金　２名 （2,250千円） ・農業発展支援事業　２名 （11,241千円）	普通	維持
					観光振興課		●	●			○	国庫補助金、市費	京丹後市観光振興計画（予定）		○	○	○	○	○	①ジオパークガイドを養成する。 ②里山文化案内人を養成する。	①ガイド養成講座実施（11/8・１１/１５・１１/２２・１１/２９）　※受講者　６名 ②里山文化案内人養成講座R5年度修了者（第二期生7名）	普通	維持
					文化財保存活用課		●	●			○	国庫補助金、市費	京丹後市観光振興計画（予定）										
	22	新規	歴史文化を活かしたコンテンツプロデュースする人材の育成	市内の様々な文化財をコンテンツとしてプロデュースできる人材を育成する。	**文化財保存活用課**		●	●			○	国庫補助金、市費											

基本方針１－５．「持続的に文化財を継承する体制を検討する」に基づく措置

基本方針１－５．進捗管理

	番号		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	実施年度					令和5年度			
					主管課	大学	団体	市民	前期（３年）	後期（2年）	次期計画				**R5**	**R6**	**R7**	**R8**	**R9**	**実施内容等**	**実施成果**	**評価**	**今後の方向性**
京丹後市の庁内連携、活動団体間の連携の強化	23	継続	文化財保存活用地域計画推進協議会の設置・運営	文化財保存活用地域計画を地域総がかりにより着実に推進するため、策定協議会を推進協議会へ発展・設置し、運営する。	**文化財保存活用課**	●	●	●	○	○	○	市費		進捗管理と、今後の計画更新のために必要な措置	○	○	○	○	○	本計画の進捗管理等を行うための推進協議会を設置し、運営する。今年度内に2回（6月頃・3月頃）開催予定。	本計画の進捗管理等を行うための推進協議会を設置し、6月・3月（3/21開催予定）の2回開催した。	普通	維持
各区の歴史文化の着実な継承に向けた体制づくり	24	新規	「（仮称）京丹後市市民遺産会議」の発足	多様な市民が文化財の保存・活用に参加できるよう「（仮称）文化財保存活用市民会議」を発足させると共に、同会議の活動により、文化財保存活用地域計画の周知をはかる。	**文化財保存活用課**		●	●	○	○	○	市費			○	○	○	○	○	推進協議会において、「（仮称）京丹後市市民遺産会議」について検討し、会議の創設を目指す。	6月の第1回推進協議会で市民遺産制度の立ち上げを検討し、1月に市民遺産制度を創設、2月に第1回市民遺産会議を開催した。	高い	拡充
	25	新規	「新たな地域コミュニティ組織」との連携	祭礼行事の継続や身近な文化財を地域活性化につなげるため、現在進められている「新たな地域コミュニティ組織」との連携を強化する。	**地域コミュニティ推進課**		●	●	○	○	○	市費			○	○	○	○	○	補助金の交付等により地域が行う新たな地域コミュニティ組織の設立を支援し、モデル地域の増加を目指す。（モデル地域の目標数：22地域、R4は11地域）	補助金等の交付や伴走支援により、新たな地域コミュニティ組織の設立と活動を支援した。（モデル地域数：22地域）	普通	維持
					文化財保存活用課		●	●	○	○	○	市費											
他地域・他機関と連携した歴史文化を活かしたまちづくりの展開	26	継続	文化財に関する計画的な把握調査の体制づくり	調査が進んでいない類型の文化財の調査を大学等研究機関や市民、活動団体と協働して持続的に調査を実施できる体制をつくる。	**文化財保存活用課**	●	●	●	○	○	○	市費			○	○	○	○	○	主に府大ACTR等の事業を通じて、大学・学校・市民と持続的に連携できる体制の構築を進める。	府大ACTR等を通じて、府大・高龍小・須田区との連携を推進。須田平野古墳の発掘調査を実施するとともに、高龍小連携プログラムを実施し、子供たちの発掘体験等、教育活動を行った。	高い	拡充
	27	継続	海の京都ＤＭＯによる「海の京都観光圏」の取組推進	日本遺産など北部７市町連携に点在する文化財を周遊する文化観光の強化を推進する。	**観光振興課**		●		○	○	○	市費	京丹後市観光振興計画（予定）		○	○	○	○	○	海の京都ＤＭＯが進める文化観光の取組を支援する。	R5年度に策定予定の「海の京都観光地域づくり戦略」に文化庁移転・丹後郷土資料館リニューアルの機会を捉えた文化観光などの更なる推進を盛り込んだ。	普通	維持
	28	継続	豊岡ＤＭＯその他広域観光団体との連携	関係府県市町等との連携による広域的な文化観光を推進する。	**観光振興課**		●		○	○	○	市費	京丹後市観光振興計画（予定）		○	○	○	○	○	北近畿広域観光連盟が進める文化観光の取組を支援する。	文化施設など教育旅行素材の提供を行った。	普通	維持

京丹後市文化財保存活用地域計画進捗管理表

防災・防犯に関する措置　実施調書

資料１０−２

防災・防犯に関する措置

課題	番号		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	防災・防犯に関する措置．進捗管理								
															実施年度					令和5年度			
					主管課	大学	団体	市民	前期（３年）	後期（2年）	次期計画				R5	R6	R7	R8	R9	実施内容等	実施成果	評価	今後の方向性
文化財の災害予防対策・防犯対策の拡充	防-1	継続	防災・防犯設備の設置	未設置の文化財について、防災・防犯設備を設置を支援する。	文化財保存活用課		●		○	○	○	一部に府補助、市補助			○	○	○	○	○	文化財所有者との協議等、連絡を取る際に、防災・防犯設備の状況についてあわせて確認をするとともに、必要な助言を行う。	文化財所有者との協議等、連絡を取る際に、防災・防犯設備の状況についてあわせて確認を行い、補助金等の助言を行った。	普通	維持
					消防本部予防課		●		○	○	○	一部に府補助、市補助			○	○	○	○	○	立入検査時、必要な消防用設備が未設置の場合、設置を促す。	消防用設備未設置なし。	普通	維持
	防-2	新規	既設の防災・防犯設備の定期的な点検	文化財所有者が設置した既設の防災・防犯設備について定期的な点検実施を進める。	消防本部予防課		●		○	○	○	一部に府補助、市補助			○	○	○	○	○	立入検査時、消防用設備が定期点検未実施の場合、点検を促す。	消防用設備の未点検未報告があり(19対象物)。点検結果報告書を提出するように指示する。	普通	維持
					文化財保存活用課		●		○	○	○	一部に府補助、市補助			○	○	○	○	○	「文化財防火デー」に合わせて、文化財所有者への立入検査を実施し、既設の防災・防犯設備について点検を行う。	「文化財防火デー」に合わせて、文化財所有者への立入検査を実施した。	普通	維持
	防-3	継続	「文化財防火運動」の実施	1月26日の「文化財防火デー」に合わせ、文化財防火運動の期間を設定し、文化財防火訓練および文化財所有者への立入検査（文化財防火査察）を実施する。また文化財所有者への周知と協力依頼、報道機関への情報提供、市広報、防災行政無線、HP等の活用による啓発を行う。	消防本部予防課		●	●	○	○	○	市費			○	○	○	○	○	文化財防火運動を中心に立入検査を予定。文化財所有者へ周知と協力依頼を図る。	社寺等の立入検査実施。文化財所有者へ周知と協力依頼文を送付。	普通	維持
					文化財保存活用課		●	●	○	○	○	市費			○	○	○	○	○	「文化財防火デー」に合わせて、文化財防火訓練および文化財所有者への立入検査を実施する。あわせて、周知・啓発を進める。	「文化財防火デー」に合わせて、文化財防火訓練および文化財所有者への立入検査を実施した。	普通	維持
災害発生時の対応の明確化	防-4	新規	文化財避難計画の作成	文化財所有者の火災・災害時の文化財の搬出ルート、連絡体制などを示した文化財避難計画作成を進める。また、未作成の文化財について、文化財所在カードの作成を進める。	文化財保存活用課		●			○	○	市費						○	○				
					消防本部予防課		●			○	○	市費											
					総務課		●			○	○	市費	京丹後市地域防災計画		○	○	○	○	○	災害時における文化財の避難搬出計画の作成に関する指導、助言			
	防-5	新規	文化財災害対応マニュアルの作成	文化財所有者の災害発生時の行動計画を示したマニュアル（危機管理マニュアル）作成を進める。	文化財保存活用課		●			○	○	市費						○	○				
					消防本部予防課		●			○	○	市費											
					総務課		●			○	○	市費	京丹後市地域防災計画		○	○	○	○	○	文化財所有者、管理団体に対する防災組織の活用、災害時における防災方法等防災措置の指導徹底			
	防-6	継続	消防本部との連携	災害発生時に迅速に対応するため、平時より、消防と文化財リストを共有するなど連携を図る。	消防本部予防課				○	○	○	市費			○	○	○	○	○	文化財保存活用課と文化財リストの共有を図る。	文化財保存活用課と文化財リストの共有を実施(文化財防火運動前に1回)。	普通	維持
					文化財保存活用課				○	○	○	市費			○	○	○	○	○	本計画の防災・防犯に関する措置の取り組みを進めるにあたり、消防本部との協議等、連携を図る場をつくる。	未実施。	低い	維持
日常的な防犯パトロールの導入	防-7	新規	文化財パトロールの実施	文化財をパトロールすることによって状況を確認し、盗難等の被害を確認した場合は速やかに関係機関に届けるなど地区単位で文化財防犯の取り組みを進める。	文化財保存活用課		●			○	○	市費			○	○	○	○	○	京都府文化財保護指導委員による市内の文化財の巡視。	京都府文化財保護指導委員による市内の文化財の巡視を実施。	普通	維持
					総務課		●			○	○	市費								該当事業なし（所管外）			

京丹後市文化財保存活用地域計画進捗管理表

関連文化財群ごとの措置　実施調書

資料１０−３

１－１．「地球の営みが生んだ半島の景観と恵み」に関する措置

１－１．進捗管理

課題	番号	分野		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	実施年度					令和5年度			
						主管課	大学	団体	市民	前期（３年）	後期（２年）	次期計画				R5	R6	R7	R8	R9	実施内容等	実施成果	評価	今後の方向性
自然景観の適切な保全	1-1-1	保存・管理	継続	自然景観・環境の保全	山陰ジオパークのジオサイトおよびその周辺の海岸景観や環境保全を大学等研究機関の専門家、市民、団体と協力しながら継続的に進める。	**観光振興課**		●	●	○	○	○	国庫補助金			○	○	○	○	○	地元団体等に委託し、１５の砂浜海岸の海岸清掃を行う。	地元地区の協力により、海岸清掃2回実施	普通	維持
						文化財保存活用課		●	●	○	○	○	国庫補助金											
	1-1-2	保存・管理	継続	海岸漂着物対策推進事業	海岸の景観と環境保全を図るため、海岸漂着物の回収及び処理を行うとともに、3R運動などの漂着物発生抑制対策（ソフト事業）を実施し、海洋汚染および海岸漂着物対策を推進する。	**生活環境課**		●	●	○	○	○	府補助金	京丹後市環境基本計画		○	○	○	○	○	海岸漂着物の回収及び処理、漂着物発生抑制対策	市の貴重な地域資源である「海」の保護・保全の継続や生物多様性の維持のために、日常生活から出るごみが海に与える影響とその現状を伝える環境学習を令和5年10月22日に実施し、8人の児童と4人の保護者が参加した。	普通	維持
						観光振興課		●	●	○	○	○	府補助金	京丹後市環境基本計画		○	○	○	○	○	地元団体等に委託し、１５の砂浜海岸の海岸清掃を行う。	人数：1,619人 金額：8,831,900円 回数：142回	普通	維持
						管理課		●	●	○	○	○	府補助金	京丹後市環境基本計画		○	○	○	○	○	海岸漂着ゴミの回収	4地区、約130名、約152千円、年1回、実施完了	普通	維持
	1-1-3	体制づくり	継続	美しいふるさとづくり推進事業	京丹後市美しいふるさとづくり条例により、美しいふるさとの自然環境を守り次代に継承するまちづくりに努めるため、環境共生自主計画を策定した推進主体が保護する環境共生推進地域、特別保護区域の指定を行うとともに、推進主体の活動支援を行う。	**生活環境課**		●	●	○	○	○	市費	京丹後市美しいふるさとづくり条例、京丹後市環境基本計画	琴引浜の鳴り砂を守る会、はだしのコンサート実行委員会が推進主体、琴引浜が特別保護区域	○	○	○	○	○	環境共生推進地域、特別保護区域の指定、及び推進主体の活動支援	鳴き砂で知られる「琴引浜」で、全世界で問題視されているマイクロプラスチックの存在と脅威を琴引浜から世界へ発信することを目的に第28回となる「はだしのコンサート」の開催経費に対して補助を行った。本コンサートは、令和5年6月4日に開催され、約1200人の参加者が朝の9時から約3時間かけて約2万個のごみを回収した。	高い	縮小
	1-1-4	保存・管理	継続	資料館等指定管理施設運営事業	山陰海岸ジオパークの拠点施設でもある琴引浜鳴き砂文化館を琴引浜の鳴き砂を中心に紹介する施設として運営する。長期的には、展示リニューアルを検討するとともに、wi-fi環境や会議設備の充実を図る。	**文化財保存活用課**		●		○	○	○	市費	京丹後市琴引浜鳴き砂文化館条例		○	○	○	○	○	指定管理施設である琴引浜鳴き砂文化館の状況管理をしつつ、wifi等必要設備の設置についてサポートする。	指定管理施設である琴引浜鳴き砂文化館の状況管理を行った。	普通	維持
	1-1-5	保存・管理	継続	ジオパーク関連施設のネットワーク化	市内外の山陰海岸ジオパークに関連する博物館のネットワーク化を進めることを検討する。	**観光振興課**	●	●				○	国庫補助金			○	○	○	○	○	山陰海岸ジオパーク推進協議会の枠組での活動を継続する。	3府県6市町で構成する山陰海岸ジオパーク推進協議会へ参画し、各市町のジオサイトの情報共有及びジオトレイルの整備等を行った。	普通	維持
						文化財保存活用課	●	●				○	国庫補助金			○	○	○	○	○	観光振興課と情報共有しつつ、博物館同士での連携を図る。	山陰海岸みんなの発表会に出席し、ジオパーク関係者との交流・連携を行った。	普通	維持
	1-1-6	活用	継続	ジオツーリズムの推進	ユネスコ認定による世界基準の学術的・文化的価値「山陰海岸ジオパーク」を活かした「ジオツーリズム」の推進。	**観光振興課**	●	●		○	○	○	市費			○	○	○	○	○	観光公社と連携し、ジオサイト周辺を舞台とする京丹後縦断トレッキングを実施する。	神姫観光13回、519人 全但バス6回、104人	普通	維持
						生涯学習課	●	●		○	○	○	市費			○					【再掲】ジオパーク等自然の中で各種スポーツ大会を実施（山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク丹後100kmウルトラマラソン、丹後大学駅伝、SUPジャパンオープン、カヌーマラソン選手権大会、ドラゴンカヌー選手権大会、全国高等学校カヌー長距離選手権大会など）し、市外からの参加者を得ている（宿泊・観光への波及）	丹後100kmウルトラマラソン（2,439人参加）、丹後大学駅伝（460人参加）、SUP大会（88人参加）、カヌーマラソン大会（256人参加）、ドラゴンカヌー大会（768人参加）を開催した。	普通	維持
						文化財保存活用課	●	●		○	○	○	市費											

１－２．「半島に展開する海・里・山の生業」に関する措置

１－２．進捗管理

課題	番号	分野		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	実施年度					令和5年度			
						主管課	大学	団体	市民	前期（３年）	後期（２年）	次期計画				R5	R6	R7	R8	R9	実施内容等	実施成果	評価	今後の方向性
各地域の特色ある町並みの調査と保存	1-2-1	活用	新規	人と山の文化史の周知・展開	山に関する民俗資料の活用、山城や登山道の更なる整備・登山客の誘致、市内各地の山を守る会等（金剛童子山を守る会等）の活動促進により、人と山の文化史の周知・発展を進める。	**文化財保存活用課**		●	●	○	○	○	市費						○	○				
	1-2-2	体制づくり	継続	自然環境保全事業	環境学習・ブナ林観察会の開催等、京丹後市の自然に触れる機会の提供、自然環境保全の取組等に対する支援を実施する。	**生活環境課**				○	○	○	市費	京丹後市環境基本計画		○	○	○	○	○	環境学習・ブナ林観察会の開催等	・子どもたちが、市域にある貴重な地域資源である「森林」を通して、自然環境を保護・保全することの大切さを学び、自分たちにできることを考える機会とすることを目的に、現地学習と座学（振返り学習）を組み合わせた森林環境学習を4年生児童（計51人）を対象に2校で実施。 ・自然豊かな本市の内山ブナ林を歩く「新緑のブナ林観察会」を、5月21日と11月5日に開催し計24人が参加。	普通	縮小
	1-2-3	活用	継続	移住促進･空家改修支援事業	移住者の受入組織づくり、空家改修等に対し補助金を交付する。移住希望者の相談窓口・案内業務や情報発信等を行うとともに、移住希望者のためのお試し移住体験住宅を運営する。	**政策企画課**		●	●	○	○	○	府補助金、 市費			○	○	○	○	○	移住者の受入組織づくり、空家改修等に対し補助金を交付する。移住希望者の相談窓口・案内業務や情報発信等を行うとともに、移住希望者のためのお試し移住体験住宅を運営する。	移住促進・空家改修支援事業補助金を交付（空家流動化促進事業：交付決定済4件400千円、交付確定済3件300千円、移住促進住宅整備事業：交付決定済21件32,489千円、交付確定済10件15,000千円）、お試し移住体験住宅を運営（黒部住宅利用3件5人、島津住宅利用3件12人）※数値は全てR6.2月末時点	普通	維持
	1-2-4	調査・研究	新規	生業に関わる文化的景観調査	農村、漁村、山村の集落や街並みと生業が一体となった文化的景観調査を進めると共に、丹後型民家などの適切な保存・活用に取り組む。	**文化財保存活用課**	●	●	●			○	国庫補助金、 市費											

	1-2-5	活用	新規	歴史的建造物の活用	歴史的建造物（旧口大野村役場（国登録）、稲葉家住宅（国登録）等）の修理等を実施し、歴史文化の拠点施設として活用することを検する。	**観光振興課**		●		○	○	○	国庫補助金、市費			○	○	○	○	○	稲葉本家の維持管理と活用を行う。	指定管理者により、適切な施設の維持管理及び企画展示の開催など利活用が図られている。	普通	維持
						文化財保存活用課		●		○	○	○	国庫補助金、市費						○	○				
農業・漁業など本市の特色ある生業を担う後継者の育成	1-2-6	人づくり	新規	海・里・山に関わる生業等技術の継承	海、里、山に関わる生業の後継者を育成するため、本市の特色ある漁法、農業技術、山林技術などの技術継承のための講演会、講習会を開催する。	**農業振興課**	●	●				○	国庫補助金、市費			○	○	○	○	○	就農初期の農業者に資金や機械導入等を支援し、新規就農者の確保・育成を図る。（農業次世代人材投資資金交付金・農業経営開始資金交付金・新規就農研修資金償還金助成事業など）	R5新規就農者採択　３名 ・農業経営開始資金交付金　２名 （2,250千円） ・農業発展支援事業　２名 （11,241千円）	普通	維持
						海業水産課	●	●	●	○	○	○	市費	海業推進事業計画	漁業者育成校「海の民学舎」負担金	○	○	○	○	○	▶漁業者育成校「海の民学舎」の設置及び運営支援 新規業業者育成のため、海の民学舎を府、関係市町、府漁協と連携して設置するとともに運営経費を支援していく。（平成27年度に設置）	海の民学舎の運営経費として、430千円を支出し、新たな漁業者の育成や若手漁業者等の経営力向上等を支援した。 ○R５年度入舎生：２名	普通	維持
						文化財保存活用課	●	●				○	国庫補助金、市費											
	1-2-7	人づくり	継続	「里山文化案内人」の養成	地域に根付いた人々の知恵について解説・案内する「里山文化案内人」の養成を推進する。	**観光振興課**		●	●	○	○	○	市費			○	○	○	○	○	里山文化案内人の養成講座を開催する。	里山文化案内人養成講座のR5年度修了者（第二期生7名）	普通	維持

1－３．「災害の歴史と記憶を伝える」に関する措置

1－３．進捗管理

課題	番号	分野		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	実施年度					令和5年度			
						主管課	大学	団体	市民	前期（３年）	後期（２年）	次期計画				**R5**	**R6**	**R7**	**R8**	**R9**	**実施内容等**	**実施成果**	**評価**	**今後の方向性**
震災関連遺構の適切な保存・活用	1-3-1	保存管理活用	新規	丹後震災100周年の取り組み	令和９年３月に丹後震災100周年を迎えるにあたって、郷村断層の保存活用計画の策定、生野内地区郷村断層保存施設の覆屋の改修、小池・樋口地区の断層の保存・活用を進め、郷村断層保存施設を山陰海岸ジオパークや防災に関する拠点施設として磨き上げをかけるとともに、防災意識の啓発をさらに進める。	**文化財保存活用課**	●	●	●	○	○	○	国庫補助金、市費				○	○	○	○				
						観光振興課	●	●	●	○	○	○	国庫補助金、市費			○	○	○	○	○	市民等に対し、ジオパークの啓発を継続する。	市広報誌およびおしらせ版での広報（７記事掲載）※概ね２月に１回ペースで掲載 ・啓発リーフレット（３ジオサイト）の作成（山陰海岸ジオパーク市情報センターに掲示） ・公式パンフレット、まるごと体感マップ、共通テキストガイドブックの改定（山陰海岸ジオパーク推進協議会と連携を図り作成）	普通	維持
						総務課	●	●	●	○	○	○	国庫補助金、市費	京丹後市地域防災計画					○					
	1-3-2	保存管理活用	新規	丹後震災記念館の保存・活用	丹後震災記念館および伊藤快彦による震災画の保存・活用方法を検討する。内部利用ができるまでの間は、外観を利用したユニークベニューの取り組み等を検討し、活用をはかる。	**文化財保存活用課**		●	●	○	○	○	国庫補助金、市費			○	○	○	○	○	丹後震災記念館について、修理に向けた財源確保の体制として基金の設立を進めるとともに、震災画の修復事業を令和5年度から3か年かけて実施する予定。	文化財の保存活用に充当できる基金を9月に設立。また、震災画の修復事業を開始（令和5年度から3か年）。	普通	維持
災害の記憶を活用した防災教育の推進	1-3-3	人づくり	新規	防災教育の推進	災害の記憶を示す写真や資料、復興建築や郷村断層を活用しながら、自然災害の脅威から身を守るための防災教育を避難訓練等とあわせ市内の小中学校で推進する。	**学校教育課**	●	●	●	○	○	○	国庫補助金、市費			○	○	○	○	○	小学６年生対象の「大地の学習」では、ハンドブックを活用した震災についての学習や郷村断層の見学を行ってた。また、各小中学校においても避難訓練の際に地震・津波・火災等の学習を行った。	資料を活用した学習や、実際の訓練により、児童生徒の防災に関する意識の高まりがみられた。	普通	維持
						文化財保存活用課	●	●	●	○	○	○	国庫補助金、市費											
	1-3-4	調査・研究	新規	離村等の所在調査及び記録の作成	これまで十分に把握できていない三八豪雪の際に離村した集落の所在について現地調査や聞き取り調査により離村の記録作成を行う。	**文化財保存活用課**	●	●				○	国庫補助金、外部資金（大学研究費）、市費											

2-1. 「「丹後王国」の成立から興隆」に関する措置

2－１．進捗管理

課題	番号	分野		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	実施年度					令和5年度			
						主管課	大学	団体	市民	前期（３年）	後期（２年）	次期計画				**R5**	**R6**	**R7**	**R8**	**R9**	**実施内容等**	**実施成果**	**評価**	**今後の方向性**
市域に広がる遺跡の計画的な調査・研究	2-1-1	調査・研究	新規	市内遺跡の調査計画の作成	今後の国・府・市による史跡指定や遺跡整備を見据えた遺跡調査に関する長期的な調査計画の作成を検討する。	**文化財保存活用課**				○	○	○	市費						○	○				
	2-1-2	調査・研究	継続	遺跡発掘調査等事業	埋蔵文化財の保護のため、発掘調査等を実施し、開発事業との円滑な調整を図る。	**文化財保存活用課**				○	○	○	国庫補助金、府補助金、市費			○	○	○	○	○	開発事業について、事業者との連絡調整を十分図りながら、必要な場合には発掘調査を実施する。	開発事業について、事業者との連絡調整を図りながら、届出処理を行った。	普通	維持
遺跡を身近に感じることができるような整備・活用	2-1-3	保存・管理・活用	継続	網野銚子山古墳の整備、管理、活用	令和6年度完成に向け、地域づくり、観光誘客、教育振興などに有効活用するために整備を推進する。また整備完了後は、地域づくり・観光・教育への活用を図る。	**文化財保存活用課**	●	●	●	○	○	○	国庫補助金	京丹後市史跡整備検討委員会条例		○	○	○	○	○	令和6年度の完成に向けて、整備工事を進めるとともに、令和6年度工事予定分の設計を進める。	整備工事を進めるとともに、令和6年度工事予定分の設計検討を進めた。	普通	拡充
						観光振興課	●	●	●	○	○	○	国庫補助金	京丹後市史跡整備検討委員会条例		○	○	○	○	○	網野銚子山古墳の整備について、観光誘客の観点で検討委員会に参加する。	検討委員会に参加し、整備後の観光活用について検討した。	普通	維持
	2-1-4	保存・管理・活用	新規	国指定史跡等に関する保存活用計画の作成	地域づくり、観光誘客、教育振興などに有効に活用するため、国指定史跡の保存活用計画を策定し、整備を推進する。	**文化財保存活用課**				○	○	○	国庫補助金						○	○				
	2-1-5	保存・管理	継続	古代の里資料館管理運営事業	考古・歴史資料等を収蔵・調査・公開する丹後古代の里資料館を文化財保護・啓発の拠点施設として運営する。	**文化財保存活用課**				○	○	○	市費	京丹後市立資料館条例		○	○	○	○	○	企画展示の開催や、小中学校の見学・体験対応等を実施する。	企画展示を3回、小中高校生向けの夏休み体験企画を1回開催。また、小中高校生の展示見学対応を行った。	普通	維持
	2-1-6	活用	新規	史跡等の官民学連携活用	市、大学、地元区、その他関係機関の連携による、史跡等地域の歴史文化資産の地域資源化及びその成果の活用を通した魅力発信を推進する。	**文化財保存活用課**	●	●	●	○	○	○	外部資金（大学研究費）			○	○	○	○	○	京都府立大学ACTRが令和5年度も採択されたことを受け、特に湯舟坂2号墳プロジェクトにおいて、官民学の連携を図りつつ、事業を実施する。	府大ACTR等を通じて、府大・高能小・須田区との連携を推進。須田平野古墳の発掘調査を実施するとともに、高能小連携プログラムを実施し、子供たちの発掘体験等、教育活動を行った。	高い	拡充
	2-1-7	保存・管理・活用	継続	市所有重要文化財の収蔵・公開	国指定重要文化財「丹後湯舟坂二号墳出土品」の保存修理と丹後古代の里資料館での収蔵・公開を図る。	**文化財保存活用課**		●		○	○	○	国庫補助金、市費			○	○	○	○	○	令和4年度から7年度までの4か年をかけて「丹後湯舟坂二号墳出土品」の保存修理を実施中であり、平行して令和5年度からは修理後に丹後古代の里資料館での収蔵・公開ができるよう、文化庁等関係機関と連絡調整を進める。	「丹後湯舟坂二号墳出土品」の保存修理を実施するとともに、修理後に丹後古代の里資料館での収蔵・公開ができるよう、文化庁・京都府・京都府立丹後郷土資料館と連絡調整を進め、方向性を見出した。	普通	維持
	2-1-8	活用	継続	文化財関連マスコットキャラクターの活用	既存の「コッペちゃん」や丹後古代の里資料館で使用している「はにえもん」などのキャラクターの活用を図る。	**文化財保存活用課**				○	○	○	市費			○	○	○	○	○	各種展示や講座資料等にて「はにえもん」の活用を図る。	未実施。	低い	維持

	2-1-9	活用	継続	資料館、史跡等の多言語化への対応	文化財の多言語に対応したパンフレットの作成及びデジタル化を検討する。	**文化財保存活用課**						○	国庫補助金、市費			○					資料館の多言語化について、近隣市町村の状況聞き取りを行うとともに、多言語化に向けた進め方を検討する。	資料館の多言語化について、近隣市町村の状況聞き取りを両丹ミュージアム連絡協議会等で行った。「京丹後歴史文化めぐりマップ」は多言語に対応したものとして作成した。	普通	維持
	2-1-10	活用	継続	資料館の地域連携	古代の里まつり、郷土資料館まつりの地域行事との連携により、既存の資料館まつりの活性化や文化財に関する地域力の創出を図る。	**文化財保存活用課**	●	●	●	○	○	○	市費			○	○	○	○	○	古代の里まつりと郷土資料館まつりの実施を予定。	未実施。	低い	維持
	2-1-11	活用	新規	古代の里園地の環境再整備、利用促進	古代の里園地を市内外からの来館者の体験スペースや学校教育（総合学習等）の場等で利用できる、人を呼び込める場所として環境の再整備、利用の促進を図ることを検討する。	**文化財保存活用課**						○	市費										
	2-1-12	活用	新規	史跡ツーリズムの推進	関連文化財群「丹後王国の成立から興隆」のストーリーを体感できるよう、神明山古墳、銚子山古墳、赤坂今井墳墓などの文化財をガイドと共に巡る「史跡ツーリズム」を推進する。	**観光振興課**		●	●	○	○	○	市費			○					「丹後王国の成立から興隆」のストーリーを体感できる「史跡ツーリズム」造成に向け、観光庁等の補助金申請を行う。	補助金申請は不採択となったが、「史跡ツーリズム」造成について、観光公社と検討を進めている	普通	維持
						文化財保存活用課		●	●	○	○	○	市費			○					「史跡ツーリズム」造成に向けて、観光振興課と連携を進める。	「京丹後歴史文化めぐりマップ」に関して、観光公社・観光振興課・海の京都DMO等と連絡調整を進めた。	普通	維持

2-2. 「半島に語り継がれた伝説・伝承」に関する措置

２－２．進捗管理

課題	番号	分野		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	実施年度					令和5年度			
						主管課	大学	団体	市民	前期（３年）	後期（２年）	次期計画				**R5**	**R6**	**R7**	**R8**	**R9**	**実施内容等**	**実施成果**	**評価**	**今後の方向性**
市内の伝説・伝承の分かりやすい発信	2-2-1	活用	新規	「（仮称）京丹後の伝説・伝承」冊子の作成	市内の伝説・伝承を理解しやすいように、（仮称）「京丹後の伝説・伝承」として冊子にまとめ、同時に観光パンフレットとしても活用する。	**文化財保存活用課**	●	●				○	市費											
						観光振興課	●	●				○	市費			○	○	○	○	○	教育委員会が作成する「京丹後の伝説・伝承」の冊子を観光パンフレットとしても活用する	観光客への案内や観光パンフレットの作成に活用した。	普通	維持
	2-2-2	活用	新規	伝説・伝承ツーリズムの推進	各地域で行われる祭や、京丹後七姫伝説、浦島太郎伝説、鬼退治伝説など、伝統・伝説・伝承を活用した「伝統・伝承ツーリズム」の推進。	**観光振興課**		●	●	○	○	○	市費											
						文化財保存活用課		●	●	○	○	○	市費						○	○				

2-3. 「「一色領国」から「海の代官所」へ」に関する措置

２－３．進捗管理

課題	番号	分野		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	実施年度					令和5年度			
						主管課	大学	団体	市民	前期（３年）	後期（２年）	次期計画				**R5**	**R6**	**R7**	**R8**	**R9**	**実施内容等**	**実施成果**	**評価**	**今後の方向性**
中近世の統治の歴史を身近に感じられる環境づくり	2-3-1	保存・管理	継続	久美浜の歴史的街並みの整備・保全	マップの作成、まち歩き観光の推進、移住の推進などにより、稲葉本家を中心とした久美浜一区の歴史的街並みの保全と活用を市民団体などと協働して進める。	**都市計画・建築住宅課**	●	●		○	○	○	市費	京丹後市住民協定景観形成条例		○	○	○	○	○	京丹後市住民協定景観形成条例第６条の規定による開発行為等の届出について、久美浜一区まちづくり協定の内容に適合しないと認めるときは、必要な指導・助言を行う	市民・事業者等からの協定区域内における建築等事業の相談等に対し、久美浜一区まちづくり協定及び、京丹後市住民協定景観形成条例の周知を行った。	普通	維持
						観光振興課	●	●		○	○	○	市費	京丹後市住民協定景観形成条例		○	○	○	○	○	久美浜一区の歴史的街並みの保全と活用を行う市民団体等の活動を支援する。	京丹後市観光公社が「周辺散策イラストマップ」を作成。	普通	維持
						文化財保存活用課	●	●		○	○	○	市費	京丹後市住民協定景観形成条例		○	○	○	○	○	稲葉本家（わくわくする久美浜をつくる会）と協力し、稲葉本家の展示の更新等を行う。	稲葉本家（わくわくする久美浜をつくる会）と協力し、稲葉本家の展示の更新等を行った。	普通	維持
	2-3-2	活用	新規	お宝再発見（地域学）による観光等への応用	アプリまたはHP等を利用し、古地図や現在に残る歴史文化を参照し、変わりゆく過去に思いを馳せながらまち歩きを行い、地域の魅力を発見する契機とする。市民が地域の歴史文化に親しむきっかけづくりになるとともに、まちの記憶のアーカイブ化としても機能するものとする。地域学習や観光にも応用可能なものとする。	**文化財保存活用課**	●		●		○	○	国庫補助金、市費						○	○				

3-1. 「「気張る」丹後人の気質とものづくりのふるさと」に関する措置

３－１．進捗管理

課題	番号	分野		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	実施年度					令和5年度			
						主管課	大学	団体	市民	前期（３年）	後期（２年）	次期計画				**R5**	**R6**	**R7**	**R8**	**R9**	**実施内容等**	**実施成果**	**評価**	**今後の方向性**
ものづくり文化のさらなる発信	3-1-1	活用	新規	ものづくり体験ツーリズムの推進	米作り発祥の「月の輪田」、日本遺産の「丹後ちりめん回廊」、古代から栄えた製鉄技術など、歴史的・文化的・伝統的な価値をもつ“ものづくり”に触れる「ものづくり体験ツーリズム」の推進。	**商工振興課**	●	●	●	○	○	○	府補助金、市費			○					市内ものづくり産業の活性化と活力のあるまちづくりを推進するため、オープンファクトリーの実施を目的とした自社工場等の環境整備を行う事業者に対し、補助金を交付	4事業者に対して補助金を交付 環境整備に対する補助制度はR5を以て終了とするが、R6以降はオープンファクトリーツアー実施に向けてプレツアーを予定	普通	拡充
						観光振興課	●	●	●	○	○	○	府補助金、市費			○	○	○	○	○	観光公社又は海の京都ＤＭＯが進める「ものづくり体験ツーリズム」の造成支援を行う。	滞在型観光の推進に向けて、観光公社や海の京都DMOが行う歴史的・文化的・伝統的な価値をもつ体験型コンテンツの掘り起こしと旅行商品化を支援した。	高い	拡充

3-2. 「「丹後ちりめん」をめぐる人と技」に関する措置

３－２．進捗管理

課題	番号	分野		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	実施年度					令和5年度			
						主管課	大学	団体	市民	前期（３年）	後期（２年）	次期計画				**R5**	**R6**	**R7**	**R8**	**R9**	**実施内容等**	**実施成果**	**評価**	**今後の方向性**
産業の観光活用	3-1-1	活用	新規	ものづくり体験ツーリズムの推進	米作り発祥の「月の輪田」、日本遺産の「丹後ちりめん回廊」、古代から栄えた製鉄技術など、歴史的・文化的・伝統的な価値をもつ“ものづくり”に触れる「ものづくり体験ツーリズム」の推進。	**商工振興課**	●	●	●	○	○	○	府補助金、市費			○					市内ものづくり産業の活性化と活力のあるまちづくりを推進するため、オープンファクトリーの実施を目的とした自社工場等の環境整備を行う事業者に対し、補助金を交付	4事業者に対して補助金を交付 環境整備に対する補助制度はR5を以て終了とするが、R6以降はオープンファクトリーツアー実施に向けてプレツアーを予定	普通	拡充
						観光振興課	●	●	●	○	○	○	府補助金、市費			○	○	○	○	○	観光公社又は海の京都ＤＭＯが進める「ものづくり体験ツーリズム」の造成支援を行う。	滞在型観光の推進に向けて、観光公社や海の京都DMOが行う歴史的・文化的・伝統的な価値をもつ体験型コンテンツの掘り起こしと旅行商品化を支援した。	高い	拡充
丹後ちりめんに関する資料の整理と活用	3-2-1	保存・管理	継続	郷土資料館管理運営事業	織物関係等の民俗資料等を収蔵・調査・公開する郷土資料館を文化財保護・啓発の拠点施設として運営する。	**文化財保存活用課**				○	○	○	市費	京丹後市立資料館条例		○	○	○	○	○	企画展示の開催や、小中学校の見学・体験対応等を実施する。	企画展示を2回、小中高校生向けの夏休み体験企画を1回開催。また、小学校の展示見学対応を行った。	普通	維持

4-1. 「花開いた仏教文化」に関する措置

4－1．進捗管理

課題	番号	分野		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	実施年度					令和5年度			
						主管課	大学	団体	市民	前期（3年）	後期（2年）	次期計画				R5	R6	R7	R8	R9	実施内容等	実施成果	評価	今後の方向性
本市の宗教文化のさらなる解明に向けた調査・研究	4-1-1	調査・研究	新規	山林寺院所在調査及び記録の作成	これまで十分に把握できていない山林寺院等の所在調査を行う。また生活文化・伝承等寺院・墓地等について現地調査や聞き取り調査により、記録の作成を行う。	**文化財保存活用課**	●	●		○	○		外部資金（大学研究費）、国庫補助金、市費			○	○	○	○	○	山林寺院等の調査を、大学研究費（大学教員の科学研究費等）を利用し、大学その他関連機関と連携しながら進める。	京都府立大学ACTRや大学教員の科学研究費等により実施してきた味土野の山林寺院跡の踏査や洞養寺の仏像調査の成果について、府大主催で11/26（日）洞養寺にて調査成果報告会を開催し、調査成果を地元へ還元。	普通	維持
	4-1-2	調査・研究	新規	石造物の悉皆調査	市民より有志を募り、市内の石造物の悉皆調査を実施する。	**文化財保存活用課**			●			○	国庫補助金、市費											
建造物や美術工芸品等の適切な維持管理	4-1-3	保存・管理	継続	美術工芸品等の保存・修理への支援	彫刻、絵画などの美術工芸品の劣化を抑え、次代に継承するために必要な保存・修理方策の整備を図るため、文化財所有者への相談窓口や保存・修理のための補助システムの構築を検討する。	**文化財保存活用課**		●	●	○	○	○	国庫補助金、 府補助金、 市費						○	○				

4-2. 「暮らしを彩る祭礼・芸能」に関する措置

4－2．進捗管理

課題	番号	分野		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	実施年度					令和5年度			
						主管課	大学	団体	市民	前期（3年）	後期（2年）	次期計画				R5	R6	R7	R8	R9	実施内容等	実施成果	評価	今後の方向性
祭礼・民俗芸能の記録保存の推進	4-2-1	調査・研究	継続	祭礼・民俗芸能の把握調査及び映像記録の作成	地区アンケートの結果や過去の調査資料から明らかになった市内の民俗芸能の現状把握と映像・写真による記録保存を推進する。また休止した民俗芸能等は、道具や衣装類や聞き取り調査を行い、映像記録等の収集につとめる。	**文化財保存活用課**		●		○	○	○	国庫補助金、市費						○	○				
						生涯学習課		●		○	○	○	国庫補助金、市費			○					「文化のまちづくり実行委員会」による伝統芸能等の映像アーカイブ化を実施。	「文化のまちづくり実行委員会」により、地域の祭や伝統芸能等20か所を記録・撮影した。	普通	維持
	4-2-2	調査・研究	新規	市内の民俗行事調査	市内各区の生活文化や年中行事について、文化財保護審議会委員や市民の協力を得ながら、現状把握等の調査を実施する。	**文化財保存活用課**		●	●			○	国庫補助金、市費											

4-3. 「半島と共に生きる食の知恵」に関する措置

4－3．進捗管理

課題	番号	分野		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	実施年度					令和5年度			
						主管課	大学	団体	市民	前期（3年）	後期（2年）	次期計画				R5	R6	R7	R8	R9	実施内容等	実施成果	評価	今後の方向性
各地域の特色ある食文化の調査	4-3-1	調査・研究	新規	食文化に関する調査	各地区で継承されている歳時食や行事食、郷土料理など、豊かな食文化に関する調査を進める。	**文化財保存活用課**			●			○	国庫補助金、市費											
	4-3-2	活用	活用	フードツーリズムの推進	「京丹後百寿レシピ体感プログラム」として認証取得したヘルスツーリズムをはじめ、健康長寿のまちの礎となった郷土食や伝統的な食文化を活かした「フードツーリズム」の推進。	**健康推進課**		●	●	○	○	○	市費								なし			
						観光振興課		●	●	○	○	○	市費			○					京丹後宿おかみさんの会による「まごわやさしいこ」食事を普及する。	・観光公社が「Kyoto Health Resort 京丹後百寿健康ウォーキング」を造成・販売。 ・京丹後宿おかみさんの会が、“まごわやさしいこ”をテーマに、地元を中心とした旬の食材をバランス良く取り入れた、体に優しい食事を宿泊客に提供。 ・本市の食の創造性が評価され、「美食都市研究会」と雑誌『料理王国』が共同で創設された「美食都市アワード2024」を受賞。	高い	拡充
若年層への食育の推進	4-3-3	人づくり	継続	食文化伝承推進事業	地域の伝統的な食文化への理解を深め、本市に伝わる食文化を伝承していくため、小学校、中学校の児童・生徒を対象に郷土食の調理指導等を実施する。	**健康推進課**		●	●	○	○	○	消費・安全対策交付金	健康増進計画、京丹後市食育プログラム		○	○	○	○	○	食生活改善推進員が小学校、中学校の児童・生徒を対象に郷土食の調理指導等を実施する。			
						学校教育課		●	●	○	○	○	消費・安全対策交付金	健康増進計画、京丹後市食育プログラム							なし	なし		
	4-3-4	人づくり	継続	食育伝達講習会	市内各地域で市民を対象に、食生活改善推進員が郷土食等の伝達講習会を行い普及する。	**健康推進課**		●	●	○	○	○	消費・安全対策交付金	健康増進計画、京丹後市食育プログラム		○	○	○	○	○	市内各地域で市民を対象に、食生活改善推進員が郷土食等の伝達講習会を行い普及する。			